

# 中原区ソーシャルデザインセンター 創出に向けた検討会

中原区役所まちづくり推進部企画課

令和4年2月4日(金)18時30分開会

# 次第

1. 本日の目的

2. おさらい

3. 意見交換

4. その他

※グループワークの際等お話しいただく場合以外はミュートでお願いします。事務局の方でミュートにさせていただく場合がありますが、御理解ください。

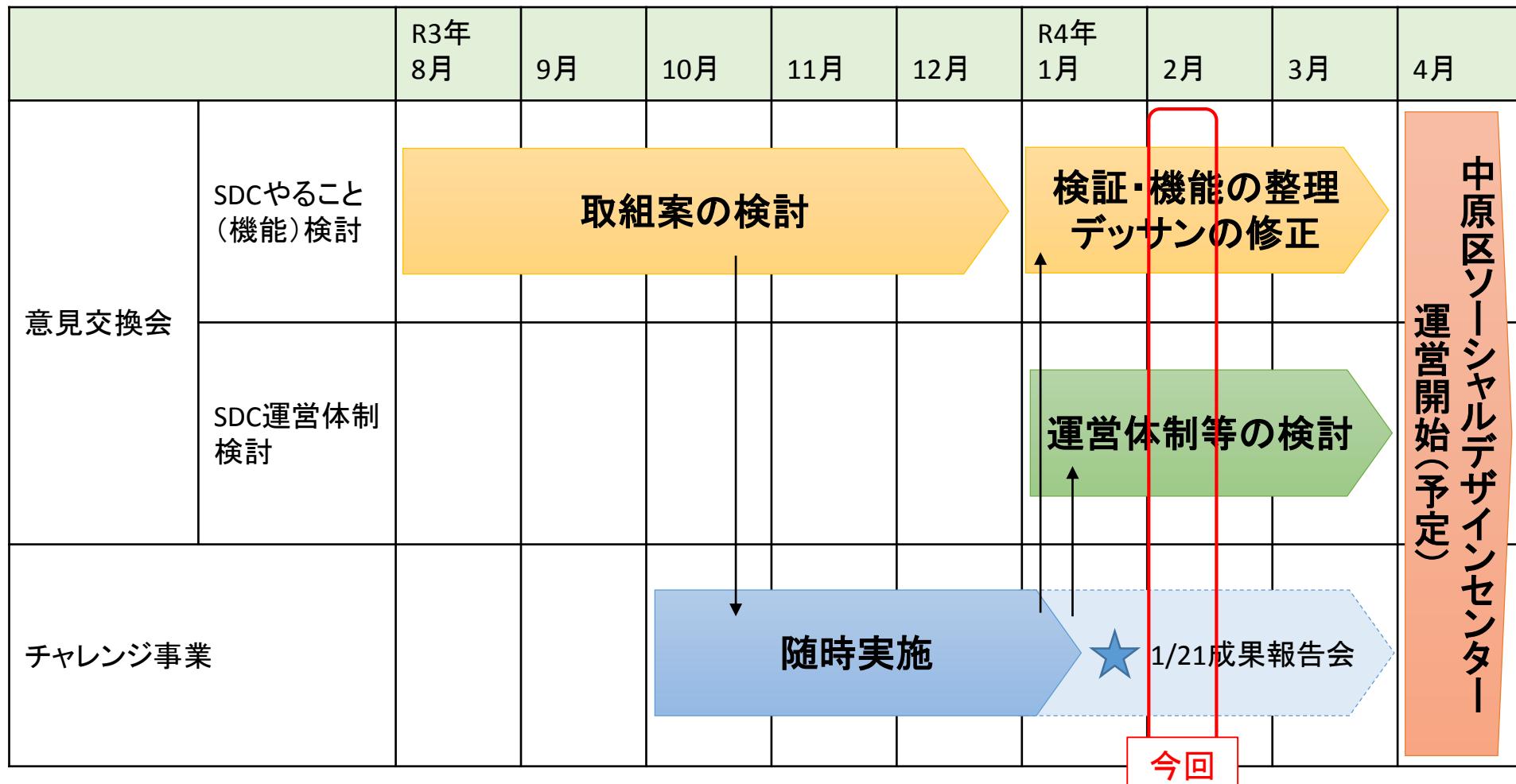
# 1. 本日の目的

## ○本日の目的

- ・今後の検討の進め方を検討する

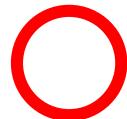
## 2. おさらい

### ○検討のスケジュール



# おさらい

ソーシャルデザインセンターとは…  
地域で新しい活動や価値を生み出す基盤  
(プラットフォーム)



- ・コミュニティ活動の基盤
- ・地域主体(地域住民)
- ・資源を持ち寄る、  
自主財源を探す
- ・コミュニティの基盤  
づくりに必要なこと



- ・コミュニティ活動
- ・行政(区役所)
- ・行政からの補助金

活動場所

# おさらい

○中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けたデッサン(抜粋)

## 設置案

地域活動の主体ではなく、地域の活動を**支援**する**プラットフォーム（基盤）**として、地域のさまざまな人や取組について「知る」「集う」「つながる」機会をつくります。

### 場所

- ・中原市民館ラウンジに設置します。
- ・オンライン上の場を作ります。

※中原市民館ラウンジは令和3年5月現在、利用できません

### 主体・運営

- ・興味、関心のあることで参加できる自由参加の場とします。
- ・参加者がそれぞれの資源を持ち寄り運営します。

### 機能

- ・情報発信、勉強会、交流会、相談会、シェアオフィスなど「知る」「集う」「つながる」を実践します。
- ・地域の方同士でコーディネートできる関係づくりを進めます。

# おさらい

## 機能案

様々な方が知り合う  
機会をつくります。  
情報発信、地域活動の発表会  
など

区民同士のつながり  
作りをします。  
相談会、オンラインサロン、  
交流会など

知る

地域の様々な  
コミュニティが  
連携します。

(仮称) 中原区  
ソーシャルデザイン  
センター

多様な主体が自由に参加する場とします

中原区役所はメンバーとして区  
役所の持っている資源の提供  
(実施場所の利用許可(減免)、  
事業の共催、運営検討会の企画  
など)を通じて関わります

つながる

参加する皆さん、「もっと  
やってみたい!」と思うこ  
とをみんなで協力しなが  
ら実現しましょう。

集う

オンラインの場や共有ス  
ペースなどに“人だまり”  
を作ります。  
各種イベントなど

さらに  
一歩

## 2. おさらい

### ○1月21日検討会の開催結果

- ・実施概要

日時：1月21日 18時30分～20時30分

会場：オンライン

人数：18人

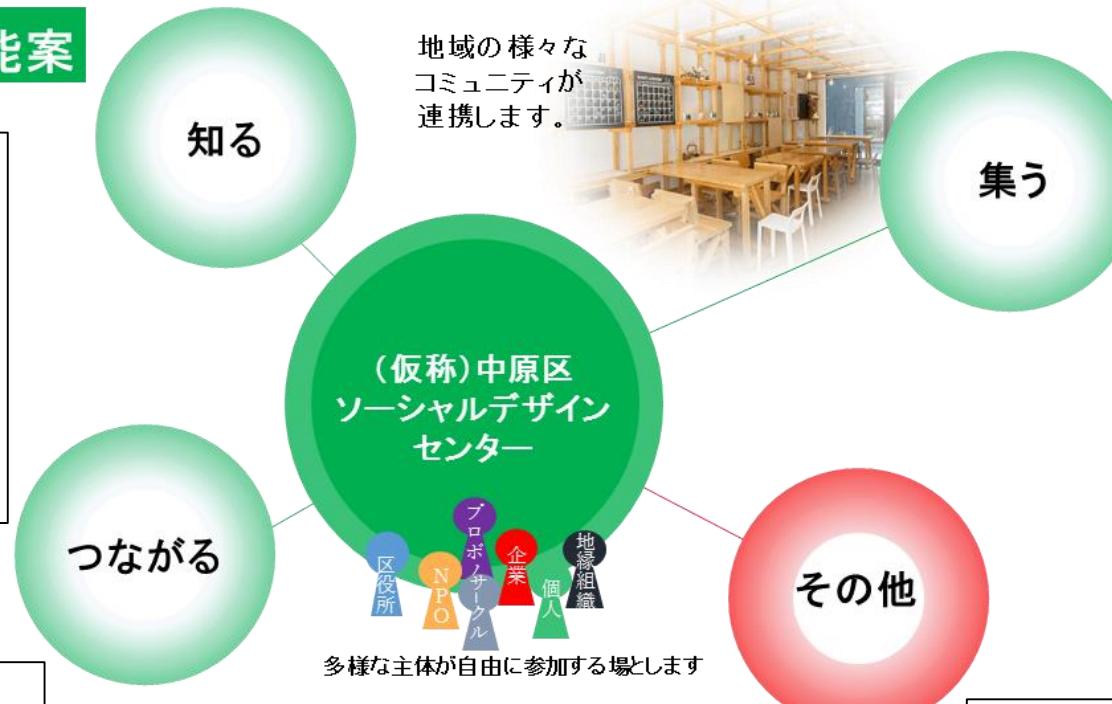
# 中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた検討会グループノート

Aグループ  
・メンバー

1回目	村田さん（進行係）	朝倉さん（記録係兼発表係）	木村さん（傍聴のみ）	吉田さん（麻生区オブザーバー）
2回目			坂本さん	竹井さん
3回目			山本さん	吉田さん

## 機能案

- ・中原区の市民活動が全て分かるものを作る（オンライン上＆小冊子等）
- ・区民なら誰もがアクセスできる必要、防災放送のように強制的に情報が耳に入る環境が必要



- ・中原区の情報が何でも入ってくるSNS等を作る
- ・中原区のことを何でも気軽に聞ける場を作る（オンライン＆オフライン）
- ・100人会議のように開かれたイベント

- ・気軽に集える場所を作る（できればリアルのカフェ等）
- ・レストラン、セミナーでの集まりのように自然につながらなきやいけない雰囲気が必要

- ・コンサルみたいな人がいた方が良い（コーディネーターのようなマッチングさせる等）
- ・成果が必須というわけではなく、なんとなくゆるやかな繋がりがあるというだけでも意味があるのではないか

# 中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた検討会グループノート

## Bグループ

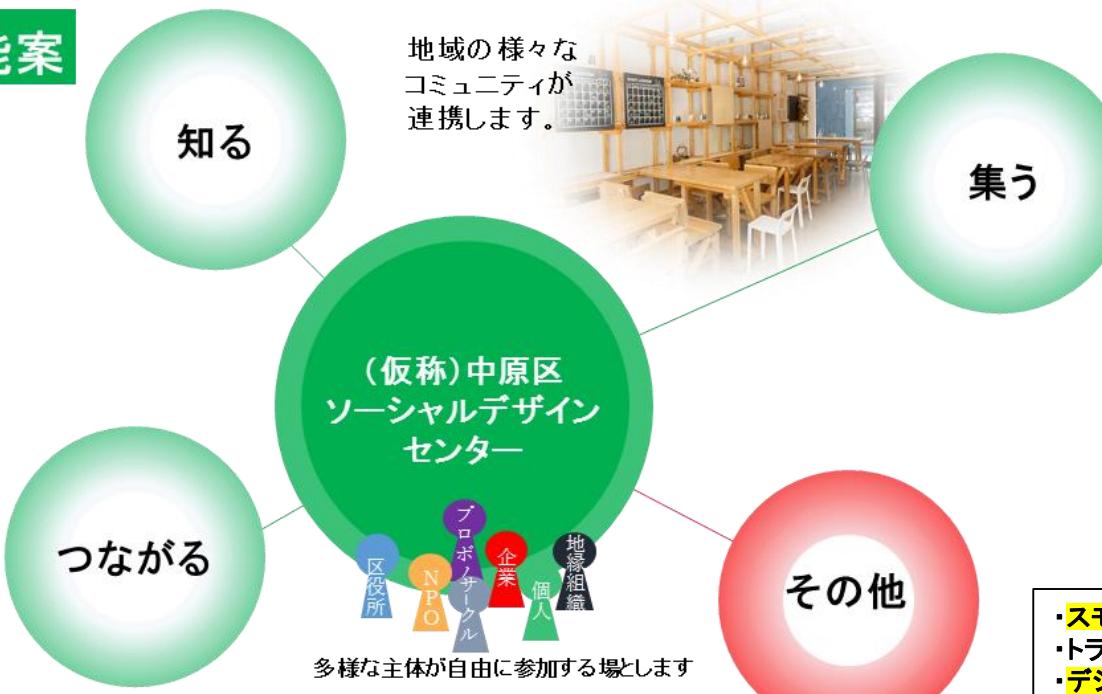
### ・メンバー

1回目	一瀬さん(進行係)	杉妻さん(記録係兼発表係)	西さん	山本さん
2回目			森山さん	兒玉さん、吉田さん
3回目			竹井さん	木村さん

### 機能案

- ・地域データベース
- ・各活動の広報(各世代にリーチできる手段が大切)
- ・地域情報のHUBとなる機能
- ・地域課題カタログ
- ・失敗、成功KnowHowデータベース
- ・地域のキーマンが分かる・つながれる

- ・つなぎ合う役目の人たちリンクワーカーがツナガリ合える
- ・つないでくれるお世話役・コーディネーターが必要ではないか
- ・人と人をマッチングする機能
- ・ファーストステップを踏み出したい人を支援
- ・既存の団体、新しい団体のHUBとなれること



中原区役所はメンバーとして区役所の持っている資源の提供(実施場所の利用許可(減免)、事業の共催、運営検討会の企画など)を通じて関わります

- ・テーマ型コミュニティがオープンになる、横につながれる機能
- ・地域おせっかい会議
- ・リアル、オンライン含めて交流できる場(チャットやSNSも活用して)
- ・リアルに集まる事を主にした場
- ・100人会議(地域の人たちがそれぞれ取り組み紹介をしながら集う)
- ・楽しく集まるだけでなく、自然と地域に貢献できるアウトプットが生まれること
- ・SDC同士の交流

- ・スマールスタート支援機能
- ・トライアル機能
- ・デジタルツール活用支援
- ・全体を俯瞰できる人がいると良い(プランナー、ファシリテーター、メンバー、アドバイザー)
- ・知って~繋がり地域への愛着が湧く・育む機能
- ・新陳代謝、入れ替わる仕組み

# 中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた検討会グループノート

## Cグループ

### ・メンバー

1回目	今川さん(進行係)	橋本さん(記録係兼発表係)	竹井さん	児玉さん
2回目			西さん	吉田さん
3回目			森山さん	吉田さん

### 【知る】

- ・さまざまなメディアに情報を発信する(市政だより、タウンニュース、神奈川新聞、イッツコム、YouTubeチャンネル)
- ・知らせたいことがある人を、たくさん集める
- ・地域で活用できるリソースの情報を集めて必要な人に提供する
- ・たくさんの情報を集める仕組みと、それを必要な人に届ける仕組み
- ・地域としての情報のデータベースを作る
- ・知りたい人と情報をマッチングする仕組み
- ・いろいろな存在している活動や人を知る

地域の様々な  
コミュニティ  
連携します

仮称)中原  
ソーシャルデザ  
インセンター

つながる



主体が自由に参

役所はメンバーと  
手している資源の  
利用許可(減免)  
運営検討会の企  
関わります

### 【つながる】

- ・人と人や地域団体、コミュニティとを繋げる
- ・自分ができないことが出来るようにれるとうれしい
- ・人とあるいはモノや情報を介して人と人が繋がること
- ・全体をみれるコーディネータがマッチングの支援などを行う
- ・マッチングした後、伴走してサポートする機能を提供する

### 【集う】

- ・誰もが気軽に集う(YouTubeチャンネル)
- ・同時に一緒に話すこと、情報交換ができる
- ・何気なくそこに行くことで知り合いができる場
- ・目的が無くとも、さまざまな人々が集う憩いの場所を提供する
- ・目的を掲げて人を集め
- ・世代間格差も踏まえてSNSで繋がる
- ・リアルで繋がることも重要。支える人とも繋がりを作る
- ・オンラインで繋がれない人も含めて繋がれる
- ・SDCが広まって地域に浸透した活動
- ・SDCの一ヵ所に集まるというイメージではなく、いろいろなところでの活動と活動と繋ぐ
- ・100人カイギを開催する

その他

### 【その他】

- ・イベント等の開催場所の確保／提供
- ・何か行う際の資金調達の支援
- ・なんとなくでも、全体を見ている人がいたらしいね
- ・知って、繋がって、集うのが重要。
- ・人が繋がっていくことで多様性に寛容な社会していく
- ・全体をファシリテートする機能
- ・地域のことがスキになるような活動に繋げる(市民プライド、郷土愛)
- ・シニアパワーを活かす

# 中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた検討会グループノート

## Dグループ（深谷さん）

### ・メンバー

1回目	重富達也さん（進行係）	岡本克彦さん（記録係兼発表係）	森山学さん	吉田陽子さん
2回目			木村有孝さん	山本紗彩子さん
3回目			西智弘さん	児玉和佳奈さん

### 機能案

- ①私が知らない中原区の人やコミュニティ、イベントを知る新しい広場（片方向）
- 既存のコミュニティや人を知れる  
→そのための情報発信
- お互いを知る、相互理解できる
- 地域活動(人、イベント)データベース

知る

地域の様々な  
コミュニティが  
連携します。

集う

(仮称)中原区  
ソーシャルデザイン  
センター

つながる

- 世代を超えてつながる
- 人がつながることで多様性に寛容な社会を目指す
- 誰一人として取り残さない
- ②区民がつながって何かが生まれる新しい広場（コラボ）
- 地域課題のカタログ

その他

多様な主体が自由に参加する場とします

中原区役所はメンバーとして区役所の持っている資源の提供(実施場所の利用許可(減免)、事業の共催、運営検討会の企画など)を通じて関わります

- ①中原区を楽しみたい人たちが集まる新しい広場（双方向）
- ②この指止まれで仲間を募れる
- 地域おせっかい会議←地域課題のカタログを生かして
- 集まる場（リアルとオンライン）の提供
- 集えるイベントを企画する
- ③「何気なく」集まる←地域課題などを意識しない人でも気軽に集まる
- しゃべらなくても居心地が良く行きなくなる

- ③誰一人取り残さない
- 好きになる、誇りに思う
- 集まった人同士の関係性が深まる
- ④感謝の気持ちを具現化する仕組み
- 全体を俯瞰しているメンター(マネージャー？)は欲しい

## 2. おさらい

### ◎グループノート(SDCの機能)の取りまとめ

分類		内容(やること)
1	情報収集・発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・発信したい人が集まり、メディアへ情報提供をする</li><li>・情報へアクセスできる場・媒体を作る(何でも情報SNS、区の情報を気軽に聞ける場、地域課題カタログ)</li></ul>
2	マッチング・コーディネート	<ul style="list-style-type: none"><li>・「人」と「人や情報」をマッチングする</li><li>・コーディネートを行う(コーディネーターがいる、リンクワーカーがつながる場、コラボ生まれる新しい場を作る)</li></ul>
3	中継点(HUB)	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域情報や団体間のHUBとなる</li></ul>
4	場の提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・気軽に集える場(リアルとオンライン)を作る</li><li>・活動や人がつながる場を作る</li><li>・活動場所の提供</li></ul>
5	活動支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・ファーストステップ支援、伴走サポート</li><li>・スタート時の資金調達支援</li><li>・試行する機会の提供</li></ul>

#### <運営に当たっての留意点>

- ・リアル、オンライン両方
- ・ゆるい繋がり大事
- ・新陳代謝・入れ替わる仕組み
- ・シニアパワーを生かす
- ・誰一人取り残さない
- ・100人会議のイメージ
- ・全体俯瞰できる人必要

# 中原区ソーシャルデザインセンター創出に向けた検討会グループノートまとめ

## 機能案

### ○情報収集・発信

- ・発信したい人が集まり、メディアへ情報提供をする
- ・情報へアクセスできる場・媒体を作る(何でも情報SNS、区の情報を気軽に聞ける場、地域課題カタログ)

知る

地域の様々な  
コミュニティが  
連携します。

集う

つながる

(仮称)中原区  
ソーシャルデザイン  
センター



多様な主体が自由に参加する場とします

その他

### ○場の提供

- ・気軽に集える場(リアルとオンライン)を作る
- ・活動や人がつながる場を作る
- ・活動場所の提供

### ○マッチング・コーディネート

- ・「人」と「人や情報」をマッチングする
- ・コーディネートを行う(コーディネーターがいる、リンクワーカーがつながる場、コラボ生まれる新しい場を作る)

### ○中継点(HUB)

- ・地域情報や団体間のHUBとなる

中原区役所はメンバーとして区役所の持っている資源の提供(実施場所の利用許可(減免)、事業の共催、運営検討会の企画など)を通じて関わります

### ○活動支援

- ・ファーストステップ支援、伴走サポート
- ・スタート時の資金調達支援
- ・試行する機会の提供

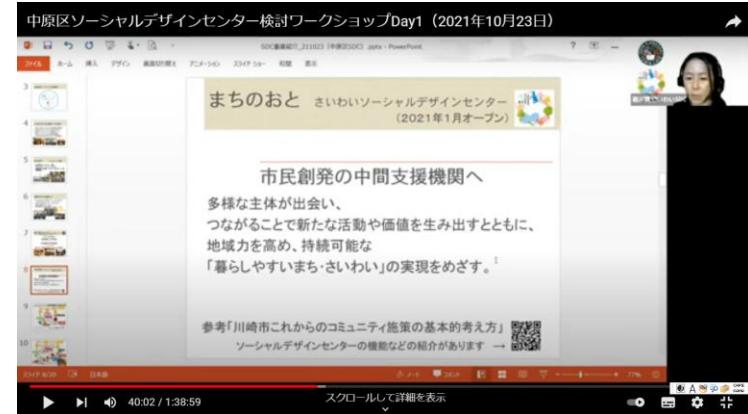
## 2. おさらい

### ○1月28日他区事例勉強会

#### ①幸区SDC「まちのおと」

→コーディネーター岩川さんの説明動画を共有

- ・市民創発の中間支援機関
- ・5つの取組「知る」、「話し合う」、「学ぶ」、「相談する」、「つながる」を実施



詳細は、youtubeで公開されている『中原区ソーシャルデザインセンター検討ワークショップDay1 (2021年10月23日)』の33分47秒～48分47秒をご覧ください。

#### ②多摩区SDC →代表の岡本さんからお話を聞きました

- ・開設理念「みんなが認め合い力を合わせて、みんなが幸せなまちをつくる」
- ・「地域で活動する団体等への支援に向けた取組」、「人材育成事業」、「調査・研究・実験・課題解決の実践」、「その他の取組」を実施

#### ・質疑

- Q. 地域活動の相談受付状況は？  
A.R2は110件、R3はそれより少ない見込み。  
過去には相談から道場開設につながったことも。  
Q. コーディネートで大事にされていることは？  
A. 話を聞くこと。

詳細をお知りになりたい方は、資料を提供しますので、そちらをご参照ください。

# 中原区SDC創出に向けた検討

## 1 検討会の目的

### 中原区らしい市民主体のSDCの創出

- ・中原区にある資源を活用
- ・市民主体の運営
- ・地域の活動や価値を生み出す
- ・プラットフォーム

## 3 検討会の目標

### 実施プラン作成・スマールスタートによる実践

- ・意見交換会などの成果を踏まえた中原区SDCプランの検討
- ・スマールスタートでの取組開始

## 2 検討内容

### 目的、機能、運営体制、担い手の検討

- ・目的の共有(言語化)
- ・抽象的な機能の具体化・今ある資源で出来る機能の検証
- ・実施する体制検討
- ・担い手の検討

## 4 実施方法

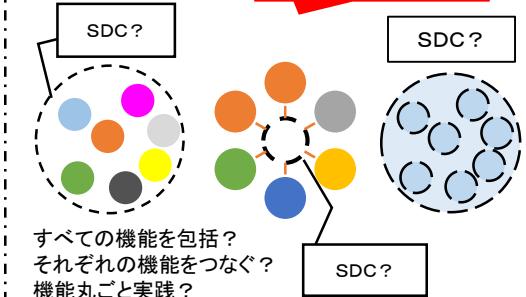
### 実践できるプラン作成(できること探し)、プランの実践

目的共有、資源探し、プラン作成、実践を段階的に進める



実現する機能を生かすSDC運営の仕組みとは?

SDCは機能の集合体としたらどんな枠組みが必要?やりたいこと・できることとの集まり?



## 検討のSTEP

### 何やるか

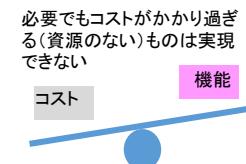
#### 1/21 STEP1 機能の検討

これまでの検討で出てきた機能の整理  
→カテゴリ分けして分かりやすい言葉にする  
(SDC機能の言語化)  
≡SDC機能の共有

目指していることの共有が大事

#### 2/4 STEP2 今後の検討方針確認

- ①前回のまとめ
- ②SDCイメージ(運営方法)についてパターン提示
- ③今後の検討の進め方提示、方針決め



2/18  
3/4

### どうやるか

#### STEP3-1 取組検討

- ①ヒト、モノ、カネ  
取組に使えるものとは?  
継続性を担保するための資源開発、収入を得る(コストの捻出)手法の検討も
- ②プラン作成  
→機能アイデアと資源を結びつけながらプラン検討  
→共感を得られるプランについて共感者とさらに検討

### 運営の仕組み

#### STEP3-2 仕組み検討

個別の機能をまとめる仕組みの検討

#### 4月～ STEP4 実践

- ・スマールスタートで始める。
- ・始めた機能の集まりが中原区SDC?
- ・最終的な仮中原区SDCモデルを共有する
- ・改善しながら実施。

### 【SDCへの関わり方】

地域活動参加レベルを意識し、適したステージで参加する

地域の  
キーパーソン  
≡コメンバー

主催側として  
参加

お手伝いとして  
参加

お客様として  
参加

予備軍

協力者

参加  
なし

参加

## 4. その他

### ○次回検討会開催予定

日時：2月18日（金）18時30分～20時30分

会場：オンライン

議題：本日の結果に合わせて検討

詳細は追って御連絡します。

# おわりに

ご不明な点やご意見、また、新しい参加者のご紹介も常時歓迎しておりますので、何かございましたら、中原区役所企画課までご連絡くださいますようお願ひいたします。

本日は  
ありがとうございました

